

# 東京オリンピック・パラリンピック開催と大学連携事業に関する一考察

## — 大学施設の有効活用について —

東海大学大津ゼミ

○須田 春菜      望月 真結      小黒 真里奈      木村 達輝  
藤原 健朗      増田 珠夕      唐澤 あゆみ

### 1. 緒言

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて準備が進むなか、新国立競技場建設やエンブレムの問題がメディアで取り上げられている。しかし、オリンピックの本来の目的である「オリンピズム」への理解や「オリンピック・ムーブメント」に関する話題については、多く散見されてはいない。とかく我が国ではオリンピズムが持つ人間の尊厳の保持に重きを置く平和な社会を奨励するという意味と、それに基づき展開されるオリンピック・ムーブメントへの認識が低い。そのような現状のなか、5年後のオリンピック・パラリンピック開催に伴い、多くの観光客が東京を訪れる。しかし、海外からの観光客の受け入れに際しホテル数や客室数が不足することが予想される。

そこで、オリンピズムやオリンピック・ムーブメントの活動の普及と宿泊施設不足問題の解決を目指し、大学施設を利用した宿泊プログラムを提言する。

### 2. 問題提起

(1) 招致ファイルによると 2020 東京オリンピック・パラリンピック大会期間中の観客数は約 850 万人、1 日当たり最大約 78 万人で、そのうち 57%の約 45 万人は都内の宿泊施設から、また 43%の約 33 万人は都外から来場すると予測されている。また、競技が開かれる中心エリアから、半径 50 キロ圏内には約 14 万室の客室があり、今後新たに 2 千室を超えるホテルの建設が計画されている。しかし、観客数の予測からみると、まだ宿泊施設の不足が課題となる。さらに、宿泊施設の不足は価格高騰を招くことを推測する。

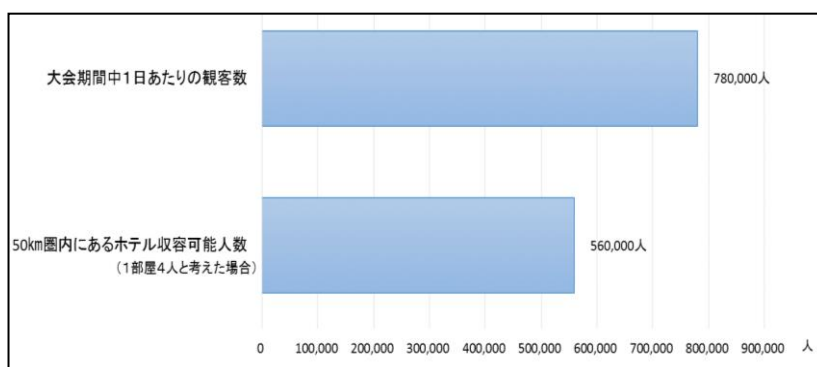


図 1. 東京オリンピック開催期間のホテル収容人数について

(2) 大会組織委員会は東京オリンピック開催に向け、平成 27 年 9 月 1 日現在全国の 783 大学・短期大学と連携協定を結んでいる。連携協定の目的は、全国の大学と組織委員会が連携し、オリンピ

ック教育の推進や大会気運の醸成等に取り組むことである。現在の大学連携事業としての取り組みは、2014年4月に行われたオリンピック・パラリンピック教育に関する有識者会議（第3回）の資料によると、連携について連携大学の学生・関係者や自治体と意見交換をする場である地域巡回フォーラムと、9つの大学の実績に留まっている。内容は、オリンピック関連科目の開講、外国人観光客への通訳ボランティア、障がい者へのスポーツ指導、図書館でのオリンピック関連図書の展示、スポーツイベントの開催等である。これらの活動内容はオリンピック教育と大会気運の醸成に関わるものではあるが、大学と組織委員会が協力して実施しているものではない。組織委員会が大学に委託し、委託された大学が独自で行っている活動といえる。このことから、組織委員会と大学の連携事業としての活動が希薄であるということが指摘できる。特にオリンピック・パラリンピック大会を通してオリンピズムの普及を推進すべきであるが、競技の運営やビジネスに偏った How to の部分に焦点が当てられ、なぜ？といった理念や原理・原則といった部分がおざなりになっているのが現状である。本研究では、15歳から18歳までの若い世代のアスリートを対象としたオリンピック大会「ユースオリンピック競技大会（YOG）」での取り組みを参考にする。なぜならば、競技に加え、選手・関係者だけにとどまらず、一般市民や来場者に対してもオリンピック教育の一環として、文化・教育プログラム（CEP: Culture and Education Programme）が展開されているからである。参加選手には、種々多様なプログラムへの参加、体験をさせることで国際的な文化交流を通して人間形成を促すといったように、勝敗よりも選手への教育や交流に重きを置いている。そこで、これまでに YOG で実際に行われた CEP での要素を参考に宿泊プログラムを検討する。

### 3. 研究の方法・結果

#### (1) 旅館業法に基づく利用可能な教室の調査

事業として大学を宿泊施設に利用する際には、旅館業法が適用され、それに則して宿泊プログラムを行うこととする。それに伴い、大学施設にその法の内容が備わっているか、現場調査を行った。また、大学施設と敷地占有率に関する「東海大学各号館内教室敷地面積表」を利用して各教室の広さを調査し、利用可能な教室の数を算出した。その結果、宿泊できる人数は最大1754人、部屋数は168部屋であることが明らかになった。

#### (2) ユースオリンピック競技大会における CEP 活動の調査

ユースオリンピック競技大会はスポーツ・文化・教育が一体となったイベントを実現している。この文化・教育プログラムのことを CEP といい、競技会と同等の重要な役割を担っている。CEP の活動を取り入れることで、オリンピック・ムーブメントの哲学と精神をより正しく理解できる。

### 4. 提言

#### (1) オリンピック開催期間中に大学施設を有効活用し宿泊プログラムを行うことを提言

する。また、このプログラムの一環として、オリンピック・パラリンピック教育を目的とした文化交流イベントを実施する。

#### ア. 運営体制

東海大学チャレンジセンタープロジェクト「東京五輪 TOKAI に泊まろうプロジェクト」  
として活動。チャレンジセンタープロジェクトとは、東海大学が社会的実践力を持った人材を育成することを目的とした教育プログラムであり、学生が自由な発想で企画立案するプロジェクト活動である。チャレンジセンタープロジェクトとして活動できる条件を満たすことで、最大予算 200 万円が毎年支給される。また、運営体制が確立されることで、東京オリンピックへ向けた今後 5 年間の組織の引継ぎが円滑になる。

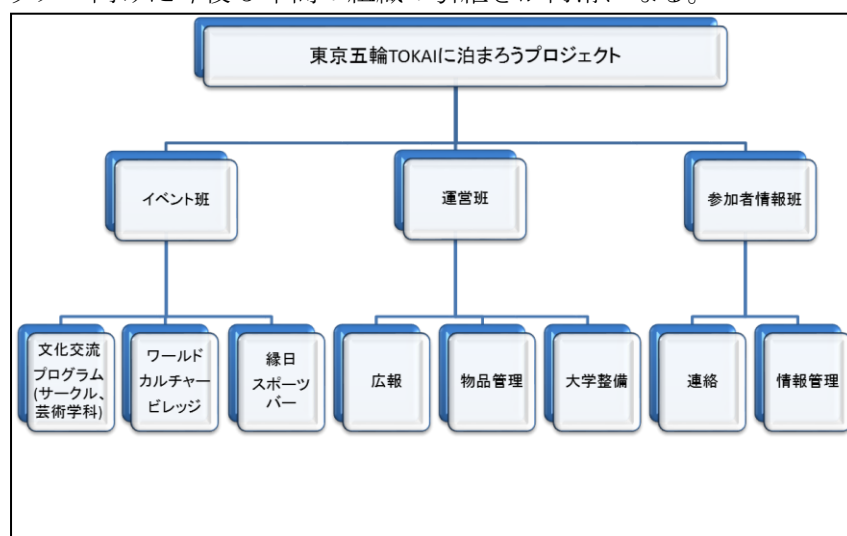


図 2. 運営団体組織図

#### イ. 宿泊形態

簡易宿所として、1 組が 1 室に宿泊する一般宿泊型と、多人数が同じ部屋に宿泊するユースホステル型の 2 種類を設定する。旅館業法に基づき部屋数を確定させ、ベッドや布団、冷蔵庫などの諸経費を概算し料金設定を行う。一般宿泊者は一人一泊 5000 円、ユースホステルは一人一泊 3000 円と価格を設定した。この価格設定で 50%以上の宿泊客が入ること、黒字となる。

#### ウ. 予約方法

予約には Airbnb(エアービーアンドビー)を利用する。Airbnb とはインターネットを介し、携帯やタブレットで宿泊施設を掲載・発見・予約できる仲介サイトである。2016 年リオ五輪の公式サプライヤーに選ばれ世界各国で認知度が高く、予約が容易に行える。

#### エ. 文化交流イベント

CEP を参考にして、訪れた外国人観光客に日本文化や異文化を知ってもらうことで国際理解を図ることを目的とする。

以下の各イベントは、東海大学に属する学部学科、サークル、クラブ等の団体や、近隣地域からの一般募集またはプロジェクト運営組織委託で参加団体を決定する。

- ・ワールドカルチャービレッジ

世界中のさまざまな文化を紹介するブースを学内の数か所に設置する。他の国や地域の習慣および文化を理解し、学生と宿泊客間の国際理解をうながす。東海大学には、現在 40 ヶ国（地域）約 600 名の留学生がいることから、ワールドカルチャービレッジの多様性が期待できる。

- ・日本文化体験プログラム

茶道、書道、剣道、空手、柔道等の日本の日本文化を外国人が体験する。

- ・芸術プログラム

大学内の美術系の学部や団体の絵画等の日本文化を象徴する作品やスポーツに関する芸術作品を展示する。

- ・日本文化パフォーマンス・音楽プログラム

ソーラン節、声楽、ダンス等のパフォーマンスを行う。

- ・その他プログラム

日中は縁日、夜間はスポーツバーを大学内で実施する。

## 5. まとめ

- ・大学施設を宿泊施設として有効活用することで、最大 1754 人の宿泊が可能になり、東京オリンピック開催時に課題となると予想される宿泊施設の不足が緩和される。また、ホテルの価格高騰に影響されず、観光客は安価に宿泊できる。

- ・CEP を参考にした宿泊プログラムを行うことで、オリンピック・ムーブメントを推進し、大学連携事業に期待されるオリンピック・パラリンピック教育を実施できる。

- ・文化プログラム・通訳・運営ボランティアをその内容に特化した学部の大学生が行うことにより、外国人観光客との交流を可能としグローバルな視点が身につく。また、観光客にとっては日本文化をより身近に感じ、理解することが可能である。

宿泊プログラムを通し、参加者と企画を運営する学生が国際交流をすることでオリンピズムの精神を学ぶことが出来る。そして、この事業に関わった学生たちや宿泊した外国人観光客が社会のリーダーとしてオリンピズムを広め、世界平和に貢献することが 2020 東京オリンピック・パラリンピックにおける大学連携事業のレガシーとなる。

### <参考文献>

- ・2016 東京オリンピック 招致ファイル

- ・2020 東京オリンピック 招致ファイル

- ・オリンピック・パラリンピック教育に関する有識者会議第 3 回 配付資料 「大学連携について」

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/sports/024/shiryo/\\_icsFiles/afieldfile/2015/07/03/1359320\\_03.pdf](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/sports/024/shiryo/_icsFiles/afieldfile/2015/07/03/1359320_03.pdf)